



若き日に
 汝の思想を培え
 若き日に
 汝の体軀を養え
 若き日に
 汝の智能を磨け
 若き日に
 汝の希望を星につなげ
 松前重義書

生徒が主役 ~あなたの生きる力を育てます~

東海大学付属甲府高等学校
 〒400-0063
 山梨県甲府市金竹1-1 Tel.055-227-1111 Fax055-227-1112

入学式

今年度は300名の新入生を迎えることができ、4月7日(火)、あいにくの天候の中ではありましたが、東海大学副学長 川上哲太郎先生をはじめ多くのご来賓の方々、保護者の方々に見守られながら、無事に入学式を終えることが出来ました。

緊張の中にも、これから始まる高校生活への期待に溢れた一人ひとりの表情が印象的な、素晴らしい入学式となりました。

また新入生代表として、甲斐市立双葉中学校出身の村上真武士君が力強く宣誓を行いました。



本校吹奏楽部が素晴らしい演奏で華を添えます。



たくさんの保護者の方々が、新入生の晴れやかな姿を見守ってくださいました。



新入生を代表して、村上君がこれからの高校生活に全力で取り組むことを力強く宣誓をしました。

新入生代表 村上真武士君の宣誓 (甲斐市立双葉中学校出身)



新入生代表としての、本当に熱い思いのこもった宣誓です。新入生全員が本校の「主役」として、この宣誓に込められた思いを共有し、一人一人、有意義な3年間を過ごしてくれることを心から願います。

本日は、私たち新入生のためにこのような盛大な入学式を行っていただきありがとうございます。私たち新入生300名は、9年間の義務教育を終え、今日から東海大学付属甲府高等学校の生徒としての第一歩を踏み出しました。

今、私たちの中には、これから始まる新しい高校生活への大きな不安と期待があります。

私たちはまだまだ未熟で、迷い、悩むこともあると思います。難しくなる学習や、ハードになる部活動など、目の前に立ち塞がる壁も、より高く、より大きくなっていくと思います。しかし、不安な反面、新しい仲間との出会い、先生方との出会い、高校生活での成長への期待もあります。その期待を実現するために、これからは自分で自分の道を切り開き、自分で自分を成長させていかなければなりません。

東海大学の教育の指針である「若き日に汝の思想を培え」「若き日に汝の体軀を養え」「若き日に汝の智能を磨け」「若き日に汝の希望を星につなげ」この4つの言葉を胸に、それぞれが夢や目標を見つけ、逆境の中でも、めげず、諦めず、互いに切磋琢磨しあい、大きな成長を目指して日々努力していくことをここに誓います。

最後に、これから私たちは、先輩方や先生方、保護者の方々や地域の方々など、多くの人たちに支えられて高校生活を送ることになります。そのことに感謝を忘れず充実した3年間を過ごしていきたいと思ひます。

2016年4月7日 新入生代表 村上 真武士

2016年度のスタートに向けて



「もう一つの四つの言葉」

東海大学付属甲府高等学校
校長 森永 州一



本校は、東海大学の創立者 松前重義博士の明日の社会を担う強い使命感と豊かな人間性を持った人材を育て、調和のとれた文明社会を建設するという理想のもと、東海大学の傘下に入った高校であります。したがって、東海大学の原点である望星学塾に掲げられた、「若き日に汝の思想を培え」ではじまる四つの言葉を教育の指針としています。また、本校は学習と部活動を両立させる「文武両道」を教育方針としており、スローガン「生徒が主役～あなたの生きる力を育てます～」の実現を目指しています。

そんな中、2016年度入学式の校長告辞で「もう一つの4つの言葉」を紹介いたしました。この言葉は、五十音の最初の言葉「あ」で始まり、高校生活の具体的な目標になると思います。この学校報を通じて、皆さんにもう一度紹介したいと思います。

1つ目の「あ」は「あいさつ」であります。毎日のスタートをしっかりとした「あいさつ」から始めることが、高校生活では大事であります。あなたの爽やかな挨拶が多くの人を幸せにすることができます。また、朝の挨拶は自分自身への働きかけでもあります。朝の自ら発する音の振動は、脳細胞に良い影響を与え、脳を活性化させるそうであります。

2つ目の「あ」は「朝ごはん」であります。高校の授業や部活動などに全力で取り組むためには、充分でバランスの良い「朝ごはん」が大事であります。そして、朝食を食べない生徒の学習効果が低いことは、多くのデータが証明しています。

3つ目の「あ」は「あきらめない」であります。高等学校は義務教育でなく、自分の意思で進学するところであります。したがって、学習も部活動も「あきらめない」姿勢が大事になります。あきらめず、前向きに取り組む意欲がある人を成長させると思います。

4つ目の「あ」は「ありがとう」であります。この言葉は感謝の言葉であり、幸せを運んでくれる言葉と思います。「ありがとう」の言葉を多く使う生徒は、なぜか運が良くなると感じています。感謝の気持ちを持った高校生活は充実したものになると思います。

以上、「あいさつ」「朝ごはん」「あきらめない」「ありがとう」の言葉を、もう一つの四つの言葉として、高校生活の具体的な目標にしてくれれば、大変嬉しく思います。今後の皆さんの活躍を心より祈念しています。

各学年主任、生徒会長のメッセージ

1 学年の皆様、改めて、ご入学おめでとうございます。あいにくの雨ではありましたが、多くの保護者の方々の参列を賜り、無事に入学式を終えることが出来たことを感謝しております。学年を代表いたしまして、厚く御礼を申し上げます。様々な思いで入学した300名の新たな生徒との出会いは、私達迎える側に取りましても、期待する反面、大変責任を感じる瞬間でもあります。これから始まる高校生活の中で、心と身体の成長とともに、学力の向上を図り、一人一人が将来の「夢」を築き、またその「夢」を実現することができるように、教職員一同全力をあげて指導して参りたいと思います。そして、その教育活動を円滑なものにするために、学校とご家庭が協力し合い、両輪となる必要があります。そして、生徒にはしっかりと自立と責任が求められます。保護者の皆様におかれましても東海大学付属甲府高校のことをよくお知りいただき、ご家庭と学校が理解を深め合い、お付き合いできますよう、よろしくお願ひ申し上げます。これからの3年間が、生徒にとって大きな成長の場となりますよう全力で取り組んでいきます。よろしくお願ひいたします。

1 学年主任 小俣広弥

高校生活二年目がスタートするにあたり、3つの目標を掲げた。

1. 将来の目標設定を促す。
2. 本校・学園・地域への敬愛の心を植えつける。
3. ルールを守り・モラルがある、人間形成を目指す。

2年生はとかく中弛みの学年と言われがちであるが、中堅学年としての自覚を養い、それにふさわしい基本的生活習慣を身に付け、将来に対する目標を明確にし、目標達成の為の基礎学力・生活習慣の定着を図りたい。

そして、東海大甲府高校の生徒としての誇りとプライドを植えつけ、ルールを守りモラルある社会で活躍できる人間を育成していきたいと考える。

最後に、熊本地震で多くの学園の仲間が災害に遭っている事を理解し、こういった事態が起きたときに自分達に何ができるか・何をしなければいけないかを考え行動してもらいたい。また、行動できるようにしてもらいたい。

2 学年主任 三井武人

今年度初めての学年集会において、最高学年として自覚と責任を持って、何事にも最後まであきらめないで、将来の進路決定に向けて取り組んでほしいとお願いをしました。

進路主任からは、卒業後の進路を実現するための準備として、東海大学希望者については、学部・学科をより詳しく知りシミュレーションする。他大学、専門学校については学校選択しそれに応じた準備をする。就職については職種を決め会社訪問の計画を立てる。保護者、担任の助言をよく聞き、自分の意志で決定することがポイントであることを話していただきました。最後に、「夢の途中・・・十年後の自分へ」映像を流して最初の学年集会を終了しました。自分自身の夢の実現に向けて、最大限の努力を期待します。

3 学年主任 長田和久

『飛躍 ～新たな伝統へ～』



生徒会長 橋本雪さん

生徒会長の3年1組 橋本雪です。今年度の生徒会スローガンは「飛躍」です。それぞれの目標に着実に向かえるように、また、学校全体としても成長できるようにこのスローガンを設定しました。生徒会を通して、まずはあたり前のことがあたりまえにできる学校に、そして一生誇れる楽しい学校生活を、全校生徒の皆さんと共に造っていきたく思います。私たち本部役員は、縁の下の力持ちとなり、いつでも応援します！よろしくお願ひします。



第88回選抜高校野球大会



2016年3月20日に甲子園で開幕した、第88回選抜高校野球大会。本校は25年ぶり5回目の出場を果たし、24日第一試合で岡山県代表 創志学園と対戦しました。試合前から投手力・守備力・打力共に本校の戦力の高さは評価されていました。応援団の大きな声援を背に受けて、球速No1ピッチャーと呼び声の高い相手エースに対し、前半戦は押し気味に試合を進め1-0とリードしていましたが、ほんのわずかな歯車の狂いから逆転を許してしまい、1-5で敗れてしまいました。

結果的には一回戦での敗戦でしたが、決して力負けではなくどちらが勝ってもおかしくない試合展開の中、勝利の女神がうっかり相手方に微笑んでしまったともいえるべき試合内容でした。この経験をもとに、今年の夏は大暴れしてくれるものと期待しています。甲子園での試合を振り返り、野球部長の和泉先生と鬼頭主将のコメントを紹介します。

〔鬼頭孝明主将〕

春の選抜大会では、岡山県の創志学園に初戦負けをしてとても悔しい思いをしました。やはり、甲子園という舞台で勝つことは簡単ではなく、また勝たなければ意味がないということを強く実感しました。さらに、勝つためには、チームの団結力や一人一人の「勝つ」という強い気持ちが必要なのだ改めて経験しました。

この悔しさを晴らすことができるのは、夏の甲子園でしかないので、今回の貴重な経験を無駄にせず、チームが一つになり、今以上の強い気持ちを持って夏の大会に挑んでいきます。

〔和泉淳一郎長〕

第88回選抜甲子園大会は3月20日開幕し、本校は大会5日目第一試合で岡山県代表、創志学園と対戦した。先発は今大会のエースナンバーを背負う松葉で、2回裏に先頭の松岡がセンター前ヒットで出塁し、ツーアウト後、亀田のセンター前ヒットで先制点を挙げた。3回にもノーアウト1、2塁のチャンスであったが、ダブルプレーにより生かすことが出来ず、5回表にヒットとフォアボールから3本のヒットを集められて4点を失った。相手の投手は今大会の注目投手であり、中盤からリズムをつかむことが出来ず、1対5で試合は終了した。

この春は悔しい結果に終わったが、新たにチーム全体がまとまり始め、夏の大会ではチーム丸となり県大会優勝はもちろん、全国制覇に挑戦したい。また、応援していただいた関係者の方々に厚く御礼申し上げたい。



・秋季関東大会の結果

- 一回戦・・・対 春日部共栄高校（埼玉） 11-4
- 二回戦・・・対 霞ヶ浦高校（茨城） 7-0
- 準決勝・・・対 木更津総合高校（千葉） 0-2

・第88回選抜高校野球大会の結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
創志学園	0	0	0	0	4	0	0	1	0	5
東海大甲府	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

第38回全校高等学校柔道選手権大会

団体戦では、6年連続で本大会に出場を果たしました。1回戦では、島根県代表の強豪開星高等学校との試合でしたが惜しくも敗戦となりました。個人戦では-60kg級の鈴木康鷹、-73kg級の坂牛のぞむ、-66kg級中村颯の三名の生徒が山梨県代表として出場しました。

- 団体戦 : 1回戦敗退
- 60kg級鈴木康鷹 : 2回戦敗退
- 66kg級中村颯 : ベスト16
- 73kg級坂牛のぞむ : 1回戦敗退

新チームとして初めての全国大会で、全国制覇に向けて日々稽古に励んできましたが、まだまだチームの力の無さを痛感しました。目標は、今年度島根で行われるインターハイでの全国制覇です。そのために、個人でのレベルアップはもちろんチームとしての力を向上するために残りの三カ月間、稽古に励んでいきます。

まだまだ期待に応えることができていると感じています。応援して下さる皆様に感謝し、恩返しができるようにしていきます。今後とも、応援のほど宜しくお願い致します。



〔編集後記〕

2016年度を迎え、300名の新しい仲間を迎えることができました。

本校のスローガンである『生徒が主役 ～あなたの生きる力を育てます～』の言葉そのままに、新入生一人一人が東海大甲府高校の新しい“主役”として有意義な学校生活を送ってくれることを心から願います。もちろん上級生も、新入生を導く立場としてさらに自覚を持って、その“主役”としての役割を立派に果たしてくれることを期待します。

今年の生徒会のスローガンは『飛躍 ～新たな伝統～』に決定しました。

生徒会の思いも、これから生徒一人一人のパワーを結集して新しい伝統づくりへと動き出そうという意欲に溢れているようです。主役が自覚を持って力を出し切ったときに、より良い変革、大きな飛躍は可能となるのではないのでしょうか。

東海大甲府高校の主役である生徒 804名が希望を持って、また心ひとつにして、本校の大きな飛躍に向けての第一歩を力強く踏み出してもらいたいものです。その先に本校の新たな伝統がより良い形で築きあげられることでしょうか。そして生徒一人ひとりが“生きる力”を十分に育むことができると思います。

この学校報を通して、その主役たちの日々の活動の様子や活躍を 生き生きと伝えることができればと願っています。

(担当者)